



豊里

桜の花はチェリーブロッサム

豊里幼稚園の4歳児（34人）は4月21日、園外保育で平筒沼ふれあい公園に出掛けました。同日は天候に恵まれ、春の暖かい風を感じながら、満開の桜を観賞。沼に架かる浮き桟橋を渡り、草花探しや遊具で友達と楽しく遊びました。子どもたちは、同行したALT（外国語指導助手）のアシュリー先生に、桜の花を意味する英語を覚えてもらい、「チェリーブロッサム」と何度も復唱していました。

満開の桜並木に笑顔あふれる

「平筒沼ふれあい公園桜まつり」は4月15、16の両日、平筒沼 youyou 館を会場に開かれ、家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。会場では、米山・豊里文化協会による舞踊、米山丸山太鼓による演奏やよさこいなどを披露。来場者だけではなく、出演者も笑顔でイベントを盛り上げました。夜には桜並木がライトアップされ、水面に映し出された桜とちょうちんの明かりが、訪れた人の目を楽しませました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

健康づくりで春の息吹を感じ

「春風ウォーキング」（迫公民館主催）は4月18日、涌谷町で開かれ、参加者は心地よい汗を流しました。春風ウォーキングは健康づくりを目的に、毎年会場を変えて実施。同日は朝から雨が降っていましたが、ウォーキングの開始時には見事に晴れ上がりました。城山公園付近約6kmの道のりをウォーキング。参加者は、満開の桜を眺めながら春の息吹を感じ、ゆっくりとウォーキングを満喫していました。



石越

交通ルール守って無事カエル

交通安全関係団体による街頭キャンペーン「ぶじかえる運動」は4月12日、東郷口梨付近の県道中田栗駒線で実施されました。佐沼署石越駅前駐在所長や同長根駐在所長らの協力の下、参加者は通行するドライバーに、パンフレットや石越障害者地域活動支援センター「さくらハウス」で作ったカエルのストラップ「ぶじかえる君」を配布。交通ルールの順守や正しい交通マナーの実践を呼び掛けました。

桜舞う茶席に漂う文化の香り

「とよま茶会」は4月29日、教育資料館やとよま観光物産センター遠山之里など登米町内4会場で開かれ、多くの参加者が茶席を楽しみました。茶会は、市内の茶道の普及と登米町の歴史ある文化をより理解してもらおうと、地域住民が手作りではじめ、今年で29回目の開催。同日は天候に恵まれ、参加者は桜の舞い散る中でお茶を味わいながら、「みやぎの明治村」の文化と春の香りを全身で感じていました。



登米

雨にも風にも負けず咲き誇る

「みなみかた千本桜まつり」は4月10から20日まで開かれ、多くの見物客が訪れました。まつり期間の前半は、つぼみの状態でしたが、終盤に一気に開花。開花後は、雨と強風が続き花の状態が心配されましたが、今年も見事な桜のトンネルを作り出し、多くの見物客の目を楽しませました。桜は道路沿いに咲いているため、車での見学が多く、気に入った場所では写真撮影をする姿が多く見られました。



南方



東和

和やかな気持ちで安全運転を

春の交通安全キャンペーン「レッド作戦」は4月6日、東和総合支所前の国道346号線で行われ、交通安全関係者約40人がドライバーに安全運転を呼び掛けました。レッド作戦は、ドライバーに和やかな気持ちで、安全運転を心掛けてもらうことを目的に実施。参加者は、東和地区交通安全協会の各支部から提供された300個の赤いバンジーなどをドライバーに配布しました。花を受け取ったドライバーたちは、笑顔で安全運転を誓っていました。



津山

横断幕で被害防止を呼び掛け

津山もくもく安全隊（遠藤一太郎津山地区防犯指導隊長）主催による「地域安全活動」は4月15日、登米警察署協力の下実施され、同隊員は詐欺被害などに遭わないよう訴えました。地域安全活動は、犯罪のないまちづくりを目指し、毎年「春の地域安全運動」の一環として実施。隊員らは、振り込め詐欺の被害防止などを呼び掛ける横断幕を地区内2カ所に設置、地域住民の防犯意識の高揚に努めました。

こいのぼりに子の成長を願う

浅水コミュニティ運営協議会（羽生進会長）は4月7日から5月10日まで、浅水ふれあいセンターの敷地内にこいのぼりを揚げました。この事業は、地域の子どもたちが元気にたくましく成長することを願い、平成6年から毎年実施。24年目を迎えた今年も、寄贈された色とりどりのこいのぼり140匹が、子どもたちの健やかな成長を見守るように、元気に泳いでいました。



中田